

宇宙政策上の重要課題と取組方針及び
平成31年度宇宙関係概算要求について

平成30年9月27日
防 衛 省

宇宙政策上の重要課題と取組方針

重要課題と取組方針①

【宇宙の重要性】

- ✓ 弾道ミサイルの早期探知、精密な誘導、遠隔地とのリアルタイム通信、情報収集など、宇宙空間は現代戦を遂行する上で死活的に重要。サイバー・電磁波を含め新領域（ドメイン）での攻防が、じ後の作戦の趨勢を決するため、宇宙能力の強化が極めて重要。
- ✓ 主要国は、あらゆる分野で独自に宇宙能力を向上させ、宇宙を利用した指揮統制能力の向上を図っている。一方、電波妨害兵器・対衛星兵器等の開発の進展により、宇宙はもはや安全ではない。

【日本の現状】

- ✓ 宇宙を利用した情報収集や指揮統制能力の更なる向上が必要
- ✓ 防衛省・自衛隊は宇宙状況監視（SSA）能力がなく、宇宙空間での脅威に対処できない。
⇒ 平成30年代前半までにSSA体制を構築する計画であるものの、更なる能力強化について検討が必要。
- ✓ 強力な電波妨害に対して対抗する手段が不足。

このままだと、宇宙能力の不足により、指揮統制が困難となり、圧倒的に不利な立場となる。



重要課題と取組方針②

【概算要求の考え方】

- ✓ 本年中に予定される防衛計画の大綱の見直し及び次期中期防衛力整備計画策定にかかる省内の検討状況を踏まえ、平成31年度概算要求を実施。
- ✓ 我が国を取り巻く厳しい安全保障環境を踏まえれば、**防衛力の「質」及び「量」を必要かつ十分に確保することが不可欠**。陸・海・空という従来の領域にとどまらず、宇宙・サイバー・電磁波といった**新たな領域の活用が死活的に重要**になっている。新たな領域を含め、**領域横断（クロス・ドメイン）作戦を実現できる体制を構築**することが必要。

【新領域の能力強化】

宇宙・サイバー・電磁波領域における脅威が多様化・深刻化する中、様々な脅威から国民の生命・財産を守るべく、**宇宙領域における対処能力の強化**やサイバー攻撃対処態勢の強化、電磁波への対処能力向上の取組が重要。

【継続した取組】

- ✓ SSAの整備
- ✓ Xバンド防衛通信衛星の整備
- ✓ 2波長赤外線センサーの実証研究
- ✓ 民間商用衛星・気象衛星情報等の利用
- ✓ 多国間机上演習への参加

【31年度以降の新たな取組】

- ✓ 宇宙設置型の光学望遠鏡を含むSSA能力向上の調査研究
- ✓ 宇宙領域における電磁波監視態勢の在り方に関する調査研究
- ✓ 人工衛星の脆弱性とその対策に関する調査研究
- ✓ 宇宙空間の安定的な利用に係る調査研究